

活動の和が広がっているか

3. 「参加者の積極的な関わりを促す」

全てのクラブ会員が積極的に参加しているか

4. 「適応力を高める」

さらに新たな活動のためにあらゆる角度から見直すべきところは見直し、改めるところは改める柔軟性があるか

この4つの優先事項にそって3年間の戦略を立ててほしい。年度が終わるごとに改めて評価を行い、次年度以降の3年間の戦略目標を立て直して欲しい、ということでした。

続いて

2 講義

ロータリーフードフェスティバルについて
(協賛広告等のお願い)

3 講義

ロータリーの危機管理
セクハラ・パワハラには即対処、信用信頼回復に務める

4 講義

地区防災対策委員会のテーマについて
自然災害の対応など

5 講義

会員増強について
退会防止と会員増強

最後に

6 まとめ

木所地区会員増強委員長より総括

以上、午後12時半より17時まで、一人の退席者もなく、皆様最後までご苦労さまでございました。

* * * * *

◎第2分科会

2024-25 年度親睦活動委員長 大原 隆一君

テーマ：魅力的で持続可能 そして、成長する例会を創る



第2分科会に出席しましたので報告します。

はじめに、ロータリー活動の核となる例会について、「魅力的な例会」を実現するために、まずは自クラブの現状確認をする必要があります。クラブのルールを整理・点検し、慣例に流されることなく、時代の変化に合わせてルールを“進化”させることが大切です。また曖昧な部分があれば明確にすることを意識して、

クラブ内で共有することが重要とのことでした。

つぎに“持続可能な例会”を行うには、クラブが会員の望む“体験”を提供し続ける必要があります。会員が望む体験とは、「楽しい例会」をはじめ、「クラブ指導者への信頼」、「自己成長の機会」、「つながり（人脈作り）」、「意義ある奉仕」などがあります。この他にも、会員が望む体験は様々あると思いますので、クラブ内のコミュニケーションを通じて、改めて会員のニーズを把握することが必要です。

そして“成長する例会”を創るためには、クラブの基盤強化に向けた“挑戦”が必要であると考えます。まずは奉仕活動と帰属感の2つの視点で現状を捉えてみます。奉仕活動に消極的で、帰属感が低いクラブは「限界クラブ」と言えます。余計なことを言わない、新しいことをやらない、いわゆる前例踏襲体質のクラブであり、近い将来、クラブ運営が破綻する危険があります。一方、目指すべき理想のクラブは、奉仕活動に積極的で、帰属感が高い「次代に続く活性クラブ」です。会員間で切磋琢磨し、自己研鑽を積み、充実した例会と奉仕活動に取り組み、地域の実情に合った理想的なクラブです。クラブの基盤強化に向けて挑戦するポイントは、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的な関わりを促す」、そして「適応力を高める」ことだと考えています。

最後に、理想的なクラブ運営を行うためには、テーマの通り「魅力的で持続可能、そして成長する例会を創る」ことが重要です。クラブ内のルールを“進化”させ、会員が望む“体験”を提供する例会の実現を目指します。まずは現状を把握するために、細部にわたり点検、確認します。そして課題を抽出し、基盤強化に向けて“挑戦”を踏まえた対策を講じます。企業と同様に、明確なビジョンを定め共有し、策定した行動計画を着実に実行していくことが、ロータリー活動においても大切であるとの内容でした。

* * * * *

◎第3分科会

2024-25 年度公共イメージ向上副委員長 下平 征司君

テーマ：ロータリーの公共イメージ向上について



公共イメージ向上委員会の役割についてご報告いたします。

2760 地区では、2016-17 年度に広報委員会と IT 委員会がありましたが会員減少に歯止めをかける為、広

報員会と IT 委員会を統合する形で公共イメージ向上委員会になりました。

2003-04 年には 5,477 名の会員が在籍しておりましたが最近では 4,700 名程度の会員減少になり歯止めがかかってないのが現状です。会員増強を図るため公共イメージを向上して行こうという訳です。

それで、どのような効果が生まれるかと言うと、ロータリービジョン声明の行動方針の 4 つの戦略的優先事項というのがあり、これは 2019-20 年度からの 5 カ年計画でありましたが、次の年度もこちらは継続していくということです。このビジョンを実現させるために行動計画があり、その行動計画には 4 つの戦略的優先事項がございます。

より大きなインパクトをもたらす。

参加者の基盤を広げる。

参加者の積極的なかわりを促す。

適応力を高める。

これらを繋ぐのが公共イメージの向上の推進活動です。多くの人々に社会のニーズを知らせて情報を共有する。そのニーズを私たちロータリアンが解決している事を知らせて、人々の理解を深め共感を得ることにより会員が増たり、会員だけではなく我々の活動に参加してくれる人が増え、その結果ロータリービジョンに 1 歩近づいていく。さらには、そういった活動している組織に所属する私たち会員のモチベーションや意識が上がっていき、このように循環を回すということに公共イメージ向上の目的、取り組みがあるという事です。

どのようにロータリーを伝えていくのか。まずロータリーを知ることから始める事です。まず自分がロータリーに対するイメージを上げることが公共イメージの向上に繋がっていくと思います。ロータリーがどのような活動をしているかという事を知り、その上で、まずは何を伝えていくのか、ロータリーの奉仕プロジェクトやロータリアンってどんな人。ロータリークラブはどんな組織か分かったと外部の方々も共感をしやすくなるという事です。

外部発信の仕方は、口頭でも結構ですしロータリーのイベントで会長がお話される事を会話やスピーチなどでロータリーの事を伝たり、文字であればホームページ、チラシ、SNS も良いという事です。

各地域には新聞媒体がありますので、新聞媒体の力を活用し地域のイベントやロータリーのイベントで伝える事ができます。これは RI の仕事とか地区の仕事だというわけではなく、クラブ、ロータリアン 1 人 1 人がロータリーの広報マンであるという自覚を持ってやってもらいたいという事です。人や外部に発信する時に話すやすくするにはロータリーの奉仕活動を覚えておくとういことです。

ロータリーの奉仕活動とは、地域社会、世界、良い変化をもたらそうと言うビジョンに基づいてやっておりますので、次の事を掲げています。他者を大切にしながら地域社会のニーズに合った国家の長続きするプロジェクトを行っています。

世界中にいる仲間とのつながりを利用している。

ロータリー財団の資金を活用してプロジェクトを行っている。

そして、最後まで責任を持ってプロジェクトを完成する。

それがどんな組織かという世界 200 カ国以上、会員数約 120 万人の国際的な組織であり、職業利益を高めるリーダー的存在を目指しています。知り合いを広めて奉仕の機会としています。国際理解、親善、平和を推進して、このような所を念頭において話すとういことです。

あと、マイロータリーの活用と登録を推進。登録者数を増やし、マイロータリーを読んで自クラブに活かして頂きたい。

ロータリーの友について、どのような事が掲載されているのか？

皆さんご存じだと思いますが、ロータリー活動の魅力をロータリー向けに特化した情報を選び最新の情報を掲載している。何を掲載しているかという、国際ロータリーからの公式な情報提供の場であり RI 指定記事というのは会長メッセージが英語で配布されており、各国の言語に置き換えられて掲載されています。友愛の広場のページを利用して海外ロータリークラブの訪問記や周年事業の報告を掲載し他地区への広報として活用して下さいという事です。

以上で地区研修会の報告とさせていただきます。

* * * * * ◎第 5 分科会

2024-25 年度職業奉仕委員長 安達 寛益君
テーマ：ロータリーのマジックにより持続可能な
大きなインパクトをあたえよう
～四つのテストと超我の奉仕の実践～



第 5 分科会の報告をさせていただきます。

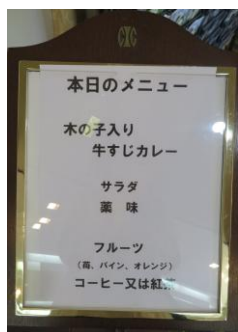
この分科会においては職業奉仕委員会と社会奉仕委員会が合同にて研修会を行いました。初めにリーダー挨拶として、長瀬ロータリー奉仕委員長より挨拶があり、その後の社会奉仕委員長・職業奉仕委員長のそれぞれの挨拶がありました。

挨拶において、今年度 2760 地区では「職業奉仕」の考え方を示されました。それはシンプルに「4 つのテストに照らし合わせた会社案内を推進する」というものでした。

1930 年度初頭に創案者であるテイラー氏は会社の為に正しい行動をするために簡単で覚えやすい倫理基準「4 つのテスト」。そして、日本ロータリーでは、

その挨拶の後、各副委員長挨拶がありまして、その後各テーブルにおいて意見交換をしていきました。これからの地区協は、時間内に座って聞いているのではなく、しっかりと頭を使って考えていきたいと思います。ということで、各テーブルでの意見交換となりました。我々職業奉仕委員長のエリアでは、それぞれの自己紹介と共にどういう職業奉仕をしてきたか等の話で意見交換を行ってきました。会社訪問や週報に職業案内を入れるなどいろいろ話が上がり、「あいつのとこがこんなことやっているなら俺も考え方かえんとかんという設え」「会社訪問一周以上回ったけど、思った以上にメンバーの事知らんからもっと知ることが大事」などの意見が上がり、職業奉仕という知らない私にとって、次年度の職業奉仕を考えていく上で、有意義な研修となったかと思います。

 =本日のお食事=



○第1回ロータリーフェスティバル

Rotary
District 2760

大山ロータリークラブ

「働くとは」・「未来問活」みんなはどう生きるか



今後自ら目標を持ち
努力する大切さを学ぶ一助となるよう
中学生に授業を行った。